

<植物工場 関連支援施策の概要> 『育て！野菜工場 ～3年で3倍増に向けた提言』

植物工場WGにおける提言

- ・ 植物工場は、「農」の世界に、先進的な「工」の技術や需要先たる「商・工」が協力することでなりたつ、いわば農商工連携のシンボル。
- ・ 植物工場の普及は、「経験と勘に頼らない、サイエンスに基づく農業」の普及につながる。
- ・ 地域の新たな産業・雇用確保の場としても期待。

普及に向けた課題

- (1) 植物工場産の食材の販路の拡大
- (2) 生産コストの抜本的削減
- (3) 基礎技術の研究開発の推進
- (4) 法規制の整理等の環境整備の促進

植物工場の拡大に向けて、産・学・官が一体となって支援を展開

① 植物工場普及キャンペーンの全国展開

- 認知度の向上に向けて、全国の公共機関や商店街等にデモンストレーション施設を設置する等の普及イベントを展開。

【経産省】

- 商店街への植物工場の導入支援【経産省】



実施イメージ



② 植物工場の設置支援

- 非農地も含め、植物工場の設置を支援【農水省】
- 植物工場の立地に対する税制優遇措置の検討【経産省】

③ 基盤技術開発、技術指導、人材育成の強化

- 人材育成、技術指導の拠点(植物工場基盤技術研究拠点)の整備【経産省】
- 大規模な技術実証・研修拠点を整備し、研究開発を推進。【農水省】
- 事業者によるコンソーシアムを活用し、関連機器・システムの規格・標準化、先進技術の実用化・普及を展開。【経産省・農水省】

④ 都道府県版「植物工場特区」の推進

- あらかじめ、区域を決めて、植物工場の立地に際し、建築基準法・消防法等の法規制の柔軟な適用を推進。【自治体】
- 植物工場の立地相談へのワンストップ窓口を整備【自治体】

目標：『3年間で全国の植物工場を3倍増、生産コストを3割削減』